

4～6月の行事等のご案内

4月 お花見、松花堂弁当



5月 母の日、かつお料理
5月人形

6月 父の日、涼風料理
落語イベントなど

大同大学周辺の桜を観に行きます。今年も満開の桜が咲きます。

写真は、昨年度の風景です。
皆様に喜んでいただけるイベント・行事を行います。



落語家の方に来てもらい、落語鑑賞をします。毎年、笑い声が響きます。



働きやすい職場を目指して

当施設では、職員が働きやすい職場作りに取り組んでいます。昨年度は有給取得率向上と残業時間削減に向けて力を入れました。そのために行ったのは業務の効率化と適切な人数配置、そして職種を超えての協働です。ひとつひとつの仕事に無駄な時間ができていないか、業務量に対して適切な人数を配置できているかを見直したり、この業務は何時までに終わらせるのかを意識して仕事をするようにしました。その結果、有給取得率は100%を達成し、残業時間も今年度末3月には、一人当たりの残業時間はほぼゼロ時間となりました。



苦情窓口案内

施設に対するご意見、ご要望は、相談員までお気軽にご連絡ください。

相談員・・・平野、小方
電話:052-217-8715

1月～3月の苦情件数:0件

また、外部の連絡先として以下の窓口もあります。ご参考にしてください。

- ・愛知県国民健康保険団体
介護サービスに関する相談
電話 052-971-4165
- ・名古屋市
健康福祉局高齢福祉部介護保険課指導係
電話 052-972-2592

職員コラム

入社してから3年が経ち、自分自身のスキルアップをする為に介護福祉士の資格を取りたいと思い、昨年の夏から講座を受けながら仕事に励んできました。

勉強が嫌になった時もありましたが、一緒に受験する仲間がいた為、お互いに励まし合いながら頑張ることができました。

また上司や先輩が気にかけて、「勉強はどう?」「がんばれ!」など声をかけ励ましてくださいました。

一緒に頑張る仲間、応援してくれる人がいたことが私の力になり、無事に合格することができました。

これからも自分自身のスキルアップをしていくとともに、よりよいケアを提供していきたいと思っております。(S.A)

*実務経験3年と実務者研修修了で介護福祉士の受験資格が得られる。

編集後記

今年度は2020年度。私が大学に入学したのが丁度2010年度ですので、あれからもう10年も経ったのかと、時の流れの速さとともに心が引き締まるのを感じます。

2016年度から発行してきたゆうあい通信も、早いもので5年目に入ります。「施設の運営や方針を理解していただけるような広報誌にしたい」という思いでこのゆうあい通信は始まりました。これからも初心を忘れず、読者の皆様に施設の情報を発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

ゆうあい通信

2020年4月 (第十六号)



【理念】

人の心を大切にし、皆様に安らぎと感動を提供することが、私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

新年度の挨拶

2020年度を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

初めに、日頃より入居の皆様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

新年のご挨拶で理事長が申しあげたように、昨年度は「人材の確保」を経営の最優先テーマとして取り組み、優秀な人材を多数採用することができました。また、今年度は「外国人技能実習制度」により、4名の実習生を受け入れる予定です。実習生を指導していく中で、職員一人一人も色々なことを学び成長し、結果、より良い介護の提供につなげることを目標にしています。皆様にも実習生を温かく見守って頂けるようお願い申し上げます。

当施設の理念である「人の心を大切に、皆様に安らぎと感動を提供する事が、私たちの使命です」を常に念頭に置き、入居者及びご家族様が、私たちの日々の介護に満足して頂けるよう、2020年度も職員が一丸となって業務に励んでまいります。

業務執行理事 入江 京子

新型コロナウイルス感染症に係る面会に関するお願い

新型コロナウイルス感染症について各地域で感染が蔓延しており、未だ治療方法が確立していないことから入居者、ご家族の皆様はもとより、現場で従事する職員にも不安が広がっております。

特に高齢者や基礎疾患を有する方については重症化することが分かっており、外部の方々との接触による感染は避けなければなりません。厚生労働省からの対応の方向性の趣旨を踏まえ、面会の制限については、入居者、ご家族の皆様にはぜひご理解をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

厚生労働省から示されている面会時対応

面会については感染経路の遮断という観点で言えば、可能な限り、

緊急やむを得ない場合を除き、制限することが望ましい。

少なくとも、面会者に対して体温を測定してもらい、発熱が認められた場合には面会を断ること。



ゆうあい通信 2020年4月(第16号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

介護科の目標

以下の4項目を今年度の介護科の目標として設定しました。

- ①入居者の方にとって有意義な日常生活を送って頂けるよう他職種協働で一人ひとりに向き合い援助を行う。
- ②入居者の方が怪我なく安心して過ごして頂けるよう介護事故予防に努める。
- ③職員一人ひとりの「質の高い介護サービスの提供」
- ④レクの充実

私たち介護職員の今年度の目標は「より良いサービス」の提供です。
食事・排泄・入浴の3大介護はもちろんのこと、入居者一人ひとりに向き合い、個別性を考えたサービスを提供します。例えば、その方々に合ったレクリエーションを実施したり、ベッドや車椅子のセンサー類や低床ベッドの導入などその方にあった最善の方法で介護安全対策を考えていきたいと思っております。そして、当施設の基本方針にもある「質の高い介護サービスの提供」では、介護の知識や技術を向上する事はもちろん、声のかけ方や表情、接し方を常に振り返りながら、心に寄り添った介護を目指します。

看護科の目標

以下の4項目を今年度の看護科の目標として設定しました。

- ①観察を十分に行い、異常の早期発見に努める。
- ②手洗いを徹底し、感染防止に努める
- ③皮膚の清潔を保ち、安楽で安全な姿勢を保つことで褥創予防に努める。
- ④良い排便習慣を持つ事が出来る様に排便コントロールをする。

異常を早期に発見し、適切な対応をすることは、看護師の重要な役割だと認識しています。日々の健康状態を細やかに観察し、異常時は速やかに施設医へ報告し指示を受けると共に、ご家族へ状態報告をさせて頂きます。
また、感染防止についても看護が先頭に立ち行っています。感染防止の対策で最も重要なのが手洗いです。今後も職員は勿論、入居者全員の毎食前の手洗いを徹底します。



相談支援課の目標

以下の2項目を今年度の相談支援課の目標として設定しました。

- ①入居者へのよりよい支援
- ②コミュニケーションの充実



介護を必要とする人々に利用相談のお手伝いをする事、特別養護老人ホームの情報を地域住民にお知らせすること、そして、入居者に最善のサービスを提供することを徹底します。
特に、入居者に対しては、それぞれの状況を詳細に観察し、充実したカンファレンスを行い、介護現場に對し的確な指示を出すと同時に、ご家族様に日常を報告し、安心して施設生活が営めるように努めます。

栄養管理科の目標

以下の3項目を今年度の栄養管理科の目標として設定しました。

- ①みなさまが気軽に楽しむことができる食事の提供
- ②おやつ充実
- ③食事提供での衛生管理の徹底

現在、料理クラブでは普通食と飲み込みが悪い方も食べられる『えんげ食』の2種類の形態で企画しています。
その中で「普通食の人と同じものが食べたい。」という意見が多いことが分かりました。ロールケーキやまんじゅうなどはミキサーにかける、プリンやようかん等で提供するため同じものでの提供が難しい現状がありますが、食べたい気持ちはみんなと変わりません。今年度は普通食と同じ見た目や味の『えんげ食』を作りたいと考えております。

1月～3月の郷土料理

1月は福井のこっばなます、2月は新潟の呉汁、3月は佐賀のがめ煮でした。

1月のこっばなますは正月や祝い事の膳には欠かすことのできない味です。今回はおせち料理に提供しました。こっば(かんなくずのこと)なますという名前は、もともとは大根をかんなどで削って作ったことに由来しています。シャッキシャッキとした歯触りのよいダイコンをゴマとからし酢みそで和えたコクのある料理です。
「箸休めに丁度良いね～」とみなさん召し上がられていました。

3月のがめ煮は九州地方での筑前煮の別名です。「名前が違くと別のものを感じるね～」と話されており、おいしいと完食される方も多かったです。

郷土料理を通じて昔の話を聞かせてくださったり、「初めて食べるわ」「どこの料理だった？」と興味を持ってくださる方も多く、うれしく思います。各地にはまだまだ沢山の料理があるのでこれからも続けていきたいと考えています。



1月～3月の行事風景



寒さに負けない楽しいイベントを今年もたくさん開催しました。

1月 初詣 お抹茶会

鏡開き 白玉ぜんざい作り



元旦・お正月では毎年恒例のイベント「お抹茶会」を喫茶コーナーにて開催しました。ご家族様と一緒に甘酒やお抹茶を召し上がっていました。また、施設内に手作りの鳥居と賽銭箱・絵馬などを飾りました。正月気分あふれる楽しい空間ができ、入居者の方も大変喜ばれました。料理イベントでは白玉ぜんざい作りを行い、みなさん楽しんで白玉を作り、召し上がっていました。

2月 節分イベント

節分の日には職員が赤鬼、青鬼に扮して登場！入居者には豆の代わりにボールを投げてもらいました。

ブリ解体ショー



「ブリの解体ショー」を開催しました。大きな寒ブリを切れ味鋭い包丁でさばき、お昼はブリをお刺身にしておいしく頂きました。迫力もあってとても大盛り上がりでした。



3月 ひな祭り



1階玄関先に大きなひな人形を飾りました。入居者の方も大変喜ばれ、1階まで一緒に見に行きました。



日常のレクリエーション



紙コップ積み上げゲーム

テーブルの上に紙コップを積み上げていく簡単なレクリエーションです。個人でも楽しめますが、少人数で誰が一番高く紙コップを積み上げられるかを競っても盛り上がりです。Fさん「手が震えて難しいけど、とても楽しく遊べた」とおっしゃられてました。

さまざまなレクリエーション(リハビリ)を行っています。ここでいくつかご紹介いたします。



割り箸ゲーム

空のペットボトルを用意し、その中に割り箸を20本入れます。制限時間は60秒。時間内にすべての割り箸をペットボトルを振って取り出していくゲームです。腕の力や手の力を使うため、リハビリにも効果抜群です。少人数でも皆でやれば大変盛り上がりです。